



29年8月号

検査室だより

夏です。太陽が昇り始めた早朝、日中の暑さがウソのように涼しいさわやかな空気を感じることができます。蝉の声もあまり聞こえず静かで、心落ち着く一日の始まりです。「夏は朝」ですね。(清少納言は夏の夜が好きなのですが・・・)

さて、この夏に大流行の兆しを見せている感染症があります。「過去10年で最多」と言われている「咽頭結膜熱」。そして、「西日本で警戒レベル」に達している「手足口病」。「子供の病気!」と侮ることなかれ。大人もかかるのです。今回は夏の感染症についてのお話です。

まずは「咽頭結膜熱」。「プール熱」と言った方がピンとくるかもしれません。プールを介して感染することがあるため「プール熱」と言われるようになりました。アデノウイルスによる急性ウイルス性感染症です。多くの場合が飛沫と接触による感染です。感染した人の咳やくしゃみからうつります。「咽頭結膜熱」という名の通り「咽頭炎」「結膜炎」「発熱」が主な症状です。お腹をこわして下痢になることもあります。

そして「手足口病」。エンテロウイルス属のコクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる感染症です。子供も大人も同じような症状で、手のひらや足、口の中にポツポツができます。だんだん口内炎がひどくなり、食事をとるのもつらくなってきます。これもやはり「つば」や「うんち」からの飛沫と接触による感染です。同じエンテロウイルス属から感染するものに「ヘルパンギーナ」があります。口の中にポツポツができますが、手や足にはできないと言われています。

さて、これらの感染症の予防法について考えてみましょう。「ウイルスをもらわない」、「ウイルスに触れない」ことが予防の近道です。つまり何だかんだ言っても「うがい」「手洗い」が一番。そして、タオルなど感染者と共用しないようにしましょう。更に! できればマスクをします。「かかったかなあ〜」と思った時も周りの人にうつさないようにするためにマスクをしましょう。



これからが夏本番です。楽しい思い出いっぱいにするためにも規則正しい生活を送り、体調を整えてください。

公衆保健協会 健診センター

